

令和5年度 第4回 西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月8日（木）13時30分から15時30分
- 2 開催場所 西小学校 会議室
- 3 出席委員 土屋 雅利、加藤 正寿、山田 悟央、三上 昌子、岡野 みの
平出 慎一郎、鈴木 将孝、福田 達樹、種茂 実予子
- 4 欠席委員 中谷 忠司
- 5 オブザーバー 桐澤 祐貴（県居協働センター）
- 6 学 校 渡辺 浩司（校長）、長瀬 千晶（教頭）、佐野 教代（教務主任）
古田 秀樹（CS担当職員）、加美 美紀（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 加美 美紀

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、加藤委員が本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 学校関係者評価（「いじめ防止等のための基本的な方針について」含む）
- (2) 学校運営協議会の自己評価
- (3) 来年度の学校運営の基本方針について
- (4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

12 会議記録

- (1) 学校関係者評価（「いじめ防止等のための基本的な方針について」含む）

議長の指示により、教務主任より学校関係者評価について説明があった。

全体的に評価が高く、子供たちが安心感を持ち充実した生活をしていると言える、また、いじめの件数は昨年より減り、未然に防止する、小さなことでも解決する素早い対応を心掛けていたとの報告があった。今年度落ち着いた理由として、マンパワーの偉大さ（栄養教諭の配置、発達支援員の充実、発達支援学級の新設により、子供たちが自分の居場所を見つけたこと）があげられ、学校支援コーディネーターの配置も大きかった。来年度は、キャリア教育のより一層の充実を図るため早めに教育計画を立て、学校運営協議会の協力を得て学校、家庭、地域との連携を深めていきたいとの報告があった。

学校関係者評価の結果、それをもとに教職員で考えた改善策についてグループに分かれて討議し、以下の発言があがった。

- Aグループ（土屋委員、岡野委員、平出委員、鈴木委員、福田委員）
- ・ 子供たちは、壁がなくいろいろな子と交流できている。まずは近くの子供たちと助け合うことを教えていきたい。
- ・ 親や先生方が子供をしっかりとしているため、優れた子供たちが育っていると思う。
- ・ いじめアンケートにタブレットでこたえることになったことは大変良い。なかなか言えない子供たちにとって、つらかったことなどをすぐ書いて見てもらえるようにすることは、有効だと思う。宿題も工夫してもらえると良い。
- ・ 教科書を置いて帰るなど、自分で選択してはどうだろうか。本読みの宿題用に教科書を写真に撮ったり、PDFで渡したりもできると思う。

- ・ 家庭で新聞を取って読む機会があるのだろうか。新聞から文章の書き方を学べるところが大きいと思う。

■ Bグループ（加藤委員、山田委員、三上委員、種茂委員）

- ・ いじめの件数が昨年に比べて減っていると聞いたが、SOSを発信できる子とできない子がいると思う。困っている子を見つけ出すために、タブレットやアンケートでも良いと思うが、SOSを発信する別の方法も教育しているのだろうか。
- ・ タブレットによるいじめの調査を、月に1回に増やしてはどうか。
- ・ 校内にかけこみ寺式にかけこむところが作ってあると良いかもしれない。気が重いと感じる子が、ゆったりとした気持ちで話を聞いてもらえる場所があるといい。以前、そのような場所が地域のお年寄りのコミュニティとなっており、一緒に過ごし話してくれたと聞いたことがある。
- ・ アンケートで「保護者」の結果が低い「粘り強く取り組む」については、子供たちは目の前の楽しいことを優先しがちである。保護者を含めて学ぶ機会を作った方がよい。失敗は次のステップにつながることを気づかせ、子供たちにチャレンジさせることに協力してもらえるようお願いすることも良いかもしれない。

(2) 学校運営協議会の自己評価

議長の指示により、教頭より運営協議会の自己評価について報告があった。

項目4「来年度の目標について」記載されている内容を確認し、熟議が行われた。

委員からは以下の発言があった。

- ・ ボランティアの募集を知らなかったのが、来年度は保護者がもっと入り込んでいけるよう組織化してほしい。どのようなボランティアがほしいのかリスト化して地域に掲示し早々に募集をかけてはどうだろうか。外部講師の授業は楽しかったと聞いているので、どれ位時間をかけて行われたか等、ある程度数値化してほしい。（福田委員）
- ・ （アンケートの結果から）児童、保護者、教職員間のギャップが見え、学びに対しての自主性が弱いと大人は思っているようだ。子供が将来を考える手段として、外部の方から学ぶキャリア教育は、インパクトが大きいと思う。（鈴木委員）
- ・ ボランティア募集のリストをいただけるとありがたい。母親だけでなく父親が関わる機会が欲しい。アンケートの結果は評価が高く、前に進んでいると思うが、まだ課題が出てないのかもしれないので、それをこの協議会でしっかり話せたらよい。小学生は、仕事を意識する前にまずは中学へ進学するので、公立中学校以外の選択肢について知る機会があると良いと思う。（平出委員）
- ・ 給食ボランティアは30分ほどで、エプロンで校内に入り、エプロンで帰る状態である。もっとボランティアの人数を確保するか、もっと子供と交流できたらと考える。学校の年間予定表を早めにいただくと、周りに声掛けがしやすい。（岡野委員）
- ・ ボランティア活動が進んでいるので、さらに人材を確保するために自治会に回覧し協力を得る、ホームカミングデーと称して、卒業生をはじめいろいろな人に学校を見てもらうのはどうか。（三上委員）
- ・ 「ボランティアとしてこういう方がいらして、このような効果がありました」ということを周知してもらえると良いのでは。またボランティア募集時には「お父さん方も一緒に」という一言を記載してはどうか。（種茂委員）
- ・ 学校教育目標は、どういう状態になったら達成なのだろうか？と思っている。目標をたてたのだから、それがどのように進捗しているのかを把握することは大切だと思う。来年度は、子供の課題について話し合っただろうか。例えば、SNSの使い方や、

SNSの使い方を保護者がどのように子供に教えているのか、SOSを発信できない子にはどのようにして対応したらよいかなど、課題が出てくると思う。ボランティアについては、県内で専用アプリを使って招集しているところがあるようだ。(山田委員)

- ・ 常々、西小学区の地域で子供を育て、地域を知ってもらい、また浜松に戻ってきてくれる子供たちを育てていきたいと思っている。自治会で回覧が必要なことがあれば、ぜひ連絡をいれてほしい。(土屋委員)
- ・ 委員のみなさんと目標を共有し情報を集めて、年度途中でも必要ならば修正すべきところはしていけばよいと思う。(加藤委員)

(3) 来年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長より来年度の学校経営の基本方針について説明があった。学校教育目標は継続の予定で、ここでは西の子は良いところ、また西の子への望む姿をお聞きしたいとのことだった。

委員の方からは以下の発言があった。

- ・ 西小の子供たちはものおじせず質問し、積極的。だからこそそれができる機会を増やしてあげたい。学区内にはいろいろな業種があり、キャリア教育に適した場所だと思う。先生方も少し楽になるのでは。父親が参加できる機会を増やしてほしい。(福田委員)
- ・ 西の子が進んで学ぶ形を具現化したい。世間で活躍している人をたくさん紹介してあげたらよいと思う。それは運営協議会で手助けできることだと思う。(鈴木委員)
- ・ 世界で生きるために子供たちが地元をもっと知って、どういう地域でどういう方がいるのかなど、自分たちが住む場所の良さを語れるようになってほしい。地元を愛せることが、日本を語れることにつながる。(平出委員)
- ・ ボランティアで学校に行くと、子供たちはたくさん話しかけてくれるが、地域に出ると反応がある子とそうでない子に分かれる。子供たちは自分も地域の一員だということを知ってほしい。(岡野委員)
- ・ キャリア教育では、子供たちがある程度自分たちで準備を進め、深掘りしていると伺っている。ある学校では、ボランティアを当たり前なこととして捉えず、いただいた恩を返すために地域に貢献する活動をしていると聞いた。子供たちが、何らかの形で返していける場所があると良いと思う。(種茂委員)
- ・ 元気がある学年と、積極性に少し欠ける学年がある。苦勞してでもなんでもやってみようとか、顔を出す、口を出す積極性を育てることも大事だと思う。(山田委員)
- ・ 最終的には、子供たちがいつもニコニコと笑顔で過ごすことができる環境を作ってあげたいと思う。(土屋委員)
 - 学校運営の基本方針については、来年度第1回運営協議会で詳しく説明する予定である。今年度は運動会、音楽会の片付けでボランティアの方に大変お世話になった。特に父親の力は大きいと感じた。(校長)

(4) 夢育やらまいかCS加算分の報告

議長の指示により、教頭より夢育やらまいかCS加算分についての報告があった。本年同様、来年度も子供たちを支えてくださるボランティアの方々のために、有効に使ってほしいとの連絡があった。

1.3 その他連絡事項

教頭から、次回開催日は 5月9日(木) 13時30分より

子供たちの様子を見ていただいた後、新しい体制の報告と学校の基本方針の説明を行うとの連絡があった。